

SC番号 : JTC1/SC 34 規格番号 : ISO/IEC FCD 19757-7 投票期限 : 2008-05-11	投票に付した文書番号 : SC34 N978
規格名称 [英文] Document Schema Definition Languages (DSDL) – Part 7: Character Repertoire Description Language	
規格名称 [和文] 文書スキーマ定義言語(DSDL) – 第7部: 文字レパートリ記述言語	
規格案の概要 [FPDAM の場合 : Amd.される規格の概要についても記載すること] 文字レパートリ(文字の集合)を機械処理可能な形で記述するための言語である。文字レパートリの例として教育漢字、常用漢字などがある。	
回答案 [該当する項目に を記入すること] <input type="checkbox"/> 賛成 <input type="checkbox"/> 反対* <input type="checkbox"/> 条件付き反対* <input type="checkbox"/> 棄権 コメント <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり [回答案が*の場合は必須]	
回答案の理由 CDの段階で十分に日本意見は反映されている。 コメントの主旨 [コメントがある場合] 文字レパートリのレジストリに関して明確化すべき点が残っていたので、どのレジストリを取り入れ、どれを取り除くかについてコメントする。	
英文コメント [大部になる場合は別紙として添付すること] Which registry should be allowed in 19757-7? We believe that the registry of ISO/IEC 15897 should NOT be allowed and that the IANA charset and the CLDR registry should be allowed. The current text is consistent with our proposal, but we request that this design should be preserved.	
JISへの対応 [該当する項目に を記入すること] 1. 対応する JIS が ない場合 JIS を 制定する 必要がある () 必要はない () その他 () (理由) 国内で教育漢字などのレパートリを機械処理可能な形で記述するため。 2. 対応する JIS が ある場合 (JIS 番号 _____) JIS を 改正し国際規格と整合させる必要がある () JIS を 改正する必要はない () (理由)	
回答案作成者 (又は回答案責任者) の氏名、所属 氏名 : 小町 祐史 所属 : 大阪工業大学	

情報電子標準化推進室使用欄

審議団体等の名称等 : (社) 情報処理学会 情報規格調査会 会長 石崎 俊

室長	補佐	担当	起案日
----	----	----	-----

			回答依頼日
--	--	--	-------